

現場後代検定成績

長崎県系桜系種雄牛歴代 1 位、2 位

はるたろう はるひさ 『晴太郎』、『晴久』について

全国的に高い知名度を誇る長崎県有種雄牛「平茂晴^{ひらしげはる}」を父に持つ、系桜系の種雄牛「晴太郎」号(平成 27 年 12 月 20 日生、佐世保市宇久町産)、「晴久」号(平成 28 年 1 月 13 日生、佐世保市知見寺町産)の現場後代検定がそれぞれ終了しました。

検定成績は下表のとおりで、肉質において最も重要視される脂肪交雑において「晴太郎」号は BMS.No.9.3 (本県歴代 3 位)、「晴久」号は BMS.No.9.0 (同 4 位)で、系桜系種雄牛としては本県歴代 1 位及び 2 位となる好成績を収めました。また、ロース芯面積においても、2 頭とも県平均(64.4cm²)を上回り、特に「晴久」号においては 72.1 cm²と本県歴代 1 位に並ぶ優秀な成績を記録しました。

本県肉用牛の基本系統である気高系、但馬系、系桜系の 3 系統のうち、全国トップクラスの系桜系種雄牛 2 頭が加わることにより、県産種雄牛のラインナップが強化され、今後の肉用牛改良の促進と、「長崎和牛」の更なる品質向上が期待されます。

1. 現場後代検定成績(去勢)

区分	脂肪交雑 (BMS.No.)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	上物率 (%)	検定 頭数
晴太郎	9.3	514.6	65.2	100.0	9
晴久	9.0	511.9	72.1	81.8	11
県平均	7.9	513.6	64.4	89.4	-

県平均：令和 2 年次長崎県産産子の肥育成績(去勢)平均値(改良センター集計)

2. 血統について

「晴太郎」号

< 本牛 >



< 血統 >

(父牛)平茂晴	{	糸晴美 - 第7系桜
		しげとし - 第20平茂
(母牛)いくこ	{	百合茂 - 平茂勝
		いくみ - 福之国

< 参考：検定牛の枝肉写真 >



去勢	
BMS.No. 12 (A5)	1代祖：晴太郎
枝肉重量：618.9 kg	2代祖：勝忠平
口ース芯：80 cm ²	3代祖：福之国

雌	
BMS.No. 12 (A5)	1代祖：晴太郎
枝肉重量：498.1 kg	2代祖：百合茂
口ース芯：77 cm ²	3代祖：平茂勝

「晴久」号

< 本牛 >



< 血統 >

(父牛)平茂晴	{	糸晴美 - 第7系桜
		しげとし - 第20平茂
(母牛)ちえみひさ	{	安福久 - 安福165の9
		第7ちえみ - 平茂勝

< 参考：検定牛の枝肉写真 >



去勢

BMS.No. 12 (A5) 1代祖：晴久
枝肉重量：543.8 kg 2代祖：安茂勝
口ース芯：78 cm² 3代祖：安平

去勢

BMS.No. 12 (A5) 1代祖：晴久
枝肉重量：512.1 kg 2代祖：福之国
口ース芯：85 cm² 3代祖：安平

3. 父牛「平茂晴」について

- ・ 壱岐市芦辺町生まれで、父は長崎県の糸桜系の基幹種雄牛「糸晴美^{いとほるみ}」。間接検定成績が良好だったため、当初から肉質、増体を兼備した糸桜系の種雄牛として期待されていた。
- ・ 凍結精液譲渡本数は累計約 24 万本で、本県歴代種雄牛の中で最も多く利用されており、10 万頭以上の子牛が生まれ、約 8 千頭の雌牛が繁殖牛として県内に保留された。
- ・ 第 10 回全国和牛能力共進会（平成 24 年）において、肉質日本一の原動力となるなど、その産肉能力は全国的にも高く評価されている。
- ・ 平成 29 年 12 月 26 日、19 歳 9 か月で永眠。
- ・ 生前の多大なる功績を称えられ、長崎県内農家・関係機関の総意により、平成 31 年 2 月 8 日平戸市田平町「長崎県肉用牛改良センター」に等身大の顕彰碑が建立された。

